

大 阪 市 中 教 研 会 報

No. 129

編集者 大阪市立中学校教育研究会

発行人 大阪市立中学校教育研究会

会長 石 川 文 子

発行所 大阪市立中学校教育研究会

大阪市立宮原中学校

TEL 6394 - 2455

平成 30 年度 研究テーマ

「未来を切り拓く力をはぐくむ教育の創造」

－ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けて －



超スマート社会(Society 5.0)を見据えた 子どもの育成をめざして

大阪市教育局委員会事務局 指導部

中学校教育担当課長 盛岡 栄市

大阪市立中学校教育研究会におかれましては、平素より、本市教育の推進に多大なるお力添えを賜り、誠にありがとうございます。

また、会員の先生方におかれましては、各教科・領域での理論の構築と調査・研究ならびに授業実践等に取り組まれるとともに、教育の今日的課題をふまえた研究活動を推進され、本市中学校教育の充実・発展に大きな役割を果たしていただいております。改めて、これまでのご功績に深く敬意を表しますとともに、心より感謝申し上げます。

さて、国においては、平成 30 年 6 月に第 3 期教育振興基本計画が閣議決定されました。この計画では、第 2 期において掲げた「自立」「協働」「創造」の三つの方向性を実現するための生涯社会の構築をめざすという理念を引き継ぎつつ、2030 年以降の社会の変化を見据えた教育政策の在り方を示しています。

具体的には、今後到来する「超スマート社会(Society 5.0)」において求められる力として、文章や情報を正確に読み解き対話する力、科学的に思考・吟味し活用する力等があげられ、一例として、様々な分野において AI やデータの力を最大限活用し展開できる人材が新たな社会を牽引するとされています。

国の動向を踏まえつつ、本市では、学校現場への教育改革の浸透を図る「改革の第 2 ステージ」と位置づけた「大阪市教育局振興基本計画」により、子どもの安全・安心と学力・体力の向上に直接的な効果の見込める施策を進めているところであります。子どもたちに必要な力を育成するため、グローバル化する社会を生きる子どもたちの可能性を広げるツールとなる英語を身に付ける教育や、論理的思考能力をつけるうえで大きな役割を果たす理数教育、心身ともに健康で活力のある生活を送るための基礎となる体力、郷土「大阪」に愛着が持てるよう大阪の歴史や文化を生かした教育などを推進し、各事業を通して支援してまいります。

成果が判明するまでに時間を要するものやさまざまな要因が影響する場合も少なくありませんが、客観的な根拠に基づき、目標を設定したうえで、教育実践を進めていただきますようお願いいたします。

さらに、「特別の教科 道徳」の教科化や次期学習指導要領の実践につきましては、大阪市立中学校教育研究会がこれまで積み上げてこられた教育実践に基づいた授業改善の活性化により、子どもたちにこれからの時代に求められる資質・能力を引き続き育てていただきますようお願いいたします。

また、教育センターでは、本年度策定の「校長及び教員としての資質の向上に関する指標」の項目と各研修のねらいとの対応を明確にすることで、先生方が自己の資質向上に向けて、より主体的、効果的に研修を受講できるよう「教職員研修計画」を改訂いたしました。

加えて、学校園組織マネジメントに関する内容の充実等をめざし、これまでの「10年次研修」を「中堅教員研修」に改めて実施する等、教員の授業力をはじ

めとする指導力向上について支援してまいります。さらに、「学校教育ICT活用事業」や「waku[×]2.com-bee」の推進も引き続き行っておりますので、ご活用いただきますようお願いいたします。

最後になりましたが、大阪市立中学校教育研究会のますますのご発展を祈念いたしますとともに、教員の研究活動を活性化する取組を通して、確かな学力を身に付け、未来を切り拓く心豊かな子どもたちの育成をお願いいたしまして、私のご挨拶といたします。



『未来の学び』につながる取り組みを！

大阪市立中学校教育研究会

会長 石川 文子（宮原中学校）

会員の皆様には、大変ご多用の中、各教科や領域の研究活動にご尽力いただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

大阪市立中学校教育研究会は、昭和22年に発足しました。それ以来、諸先輩方の研究活動にける情熱とご努力により、常に学校現場を牽引するリーダーとして、大阪市の中学校教育を支え、大きな成果と実績を残していただいております。そして現在もその伝統を引き継ぎ、17部門の研究部専門委員会と8ブロック委員会とで先進的な取り組みをいただき、研究活動を推進していただいております。

今年度は、去る5月23日（水）に、大阪市教育センターにおいて全体会を開催し、研究活動をスタートすることができました。当日は、大阪市教育委員会や大阪市教育センターをはじめとするご来賓の皆様のご臨席のもと、多くの会員の皆様にご出席をいただき、誠にありがとうございました。研究部長やブロック委員長、専門委員の皆様にはそれぞれの役職等をお引き受けくださいましたことに感謝するとともに、それぞれの研究活動を支えていただいておりますことに対して、心よりお礼を申し上げます。新役員一同、会員の皆様の研究活動が、より一層充実したものになりますよう、精一杯努力してまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

さて、昨年度は、平成29年3月に新学習指導要領の告示、「大阪市教育振興基本計画」の改定がなされ、それを受けた新たな研究活動をスタートする一年になりました。本年度も昨年度の研究テーマを継承し、

『未来を切り拓く力をはぐくむ教育の創造』、サブテーマを『～主体的・対話的で深い学びの実現に向けて～』とします。

これまでの研究活動の成果を大切にすることはもとより、次代を見据えた、「新しい学び」の実現に向けて、新たな成果を生み出すことが求められます。そして、「新しい学び」が「未来の学び」につながる取り組みが必要かと考えます。各研究部、ブロックにおかれましては、そのことを念頭に置いていただき、これまで以上に活発な研究活動を進めていただきますようお願いいたします。

中教研では、研究会のホームページを活用して広報に努めております。（Skip ポータルのリンクがあります）。会員の皆さまにも、ぜひご活用をいただきますようお願いいたします。

また、研究会の活動が、会員の皆さまにとり、より有意義なものになるように、改善すべきところは改善を進めたいと考えております。ご意見・ご提案等がございましたら遠慮なく本部役員までご連絡くださいますようお願いいたします。

最後に、本研究会では、大阪市教育委員会や大阪市教育センターのご支援を得ながら研究活動を進め、現在求められる教育、さらにはその先を見据えた教育の実現を求めてまいりたいと考えております。会員の皆さまには、本研究会の活動がますます活気あるもの、実りあるものとなりますよう積極的な研究活動へのご参加、そして、より一層のご支援とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

新部長のあいさつ

理科部

「興味・関心をかきたてる」

吉本博志（市岡東中）

私が小学校1年生のころ、プラモデル作りが好きで、よく車の模型を作ったことを覚えています。そんなある日、ふと手もとにあった直流モーターをコンセントにつないだらどうなるのかな？と思い、赤と緑のそれぞれのコードをコンセントに差し込んだところ、火花が散ってコードが真っ黒に焦げてしまったことがありました。また、目覚まし時計を分解して部品をひとつひとつ並べ、もう一度組み立てることができるのだろ

うかと試し、失敗して母親に怒られたことを思い出します。

こんな経験が多くの理科の先生にはあるのではないかと思います。自分がやってみたいことを子どもたちの興味・関心につなげていくことが理科好きを育てていくことなのではないかと思っています。

理科部では子どもたちの興味・関心をかきたてていく研究を進めていきたいと思っています。

音楽部

「表現と鑑賞 音楽力の向上」

— 豊かな感性を育て、表現力を培う授業のあり方 —

中本宏司（我孫子中）

本市中学生の心豊かな感性と個性豊かな表現力を育成し、日常生活において、音楽の溢れる環境を自ら創造し親しむことのできる態度を養える情操の育成に取り組んでいます。

ICT機器の導入によりより能動的なカリキュラムの構成が可能となり従来の教授型スタイルから参加・活動型スタイルが求められる昨今、授業作りの研究を停滞することなく進めることが、音楽科としての重点

課題であることを確認し、今年度も昨年度に引き続き「表現と鑑賞 音楽力の向上」～豊かな感性を育て、表現力を培う授業のあり方～を研究課題と致しました。

音楽部の皆さんの力を結集し、生徒個々の個性を育てるために、先生方の授業構成の一助となるべく全市研究会をはじめ、ブロック研究会、夏季・冬季研修会等々実施いたします。積極的な参加の程、よろしくお願い致します。

英語部

英語で積極的にコミュニケーションを図る資質・能力を育成する

— 5領域のコミュニケーション能力を総合的に養う —

井戸本崇志（我孫子南中）

新学習指導要領施行を目前にし、英語によるコミュニケーション能力の育成を意識した取り組み、特に「話すこと」の技能を「やりとり」と「発表」に分け、4技能5領域の視点でコミュニケーション能力を養わなければなりません。

昨年度の「全市研究発表会」では、分科会を実施し、市内教員が持つ指導方法や教材の共有化を図りました。また、「やりとりをする」の指導方法を研究し、発表しました。

今年度は、小学校で英語の教科が始まることで、こ

れからの中学校での英語教育を考え、授業のあり方をさらに深めて研究する必要があります。子どもたちの英語学習への興味・関心を高め、学習意欲を喚起する英語教育を、会員の皆さまとともに、表記の主題で研究を進めていきたいと考えております。今年度も「全市研究発表会」をはじめ、「大阪市長杯中学生英語暗唱大会」、「イングリッシュフェスティバル」などを企画いたしますので、積極的なご参加をお待ちしております。

道 徳 部

「特別の教科 道徳」の全面実施に向けて

安 藤 幸 人 (東 陽 中)

平成31年度からの特別の教科道徳の全面実施に向け、校長のリーダーシップのもと、道徳教育推進教師が中心となり、すべての先生方が協力し、道徳の授業を確実かつ充実したものにしていかなければなりません。

道徳の授業を通して子どもたちが、クラスの仲間や先生と共に考え、共に語り合う中で「人間として生きるということはどういうことなのか」「人間とは何か、人間の強みは何か」を語り合い考え、感じていく。そ

して、答えのない課題に対して納得でき、折り合うことができる答えである「納得解」を見出していくことが大切なこととなっていきます。

これからを担っていく子どもたちは成長していく中で、予測困難な時代に立ち向かっていかなければなりません。子どもたちのためになる新しい道徳の授業、心に響き、心を耕す道徳教育の充実に向け、一緒に研究し勉強していきたいと思っています。

特別活動部

「生徒一人ひとりが主体的に生きる特別活動の創造」

進 藤 文 代 (旭 陽 中)

次期学習指導要領が告示され、特別活動部では、「集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団行動に自主的、実践的に取り組み、互いの良さや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを目指す。」と示されています。

中教研特別活動部では、毎年、生徒会交流会を各ブロック研究会で取り組んでいます。生き生きと子どもたちが自校の取組を発表し、討議することにより、

「主体的・対話的で深い学び」が実践されています。キャリア教育では、今年度はキャリア教育の出口について研究しています。

全市研究発表会では、キャリア教育についてのご講演、生徒会活動の実態調査の分析と報告と、進路指導・キャリア教育研究協議大会の報告を全市に発信していきたいと考えていますので、みなさまの参加をよろしくお願いいたします。

生活指導部

『生活指導上の今日的な課題を把握し、地域・関係機関と連携・協働した効果的かつ組織的な生活指導体制を研究する』

源 嶋 史 展 (高 倉 中)

生活指導部では、昨年度の研究主題を引き継ぎ、研究を進めてまいります。

特に今年度は、虐待問題に焦点をあて、各校にアンケート調査を実施し、実態を把握すると共に、平成25年から3年間実施した「問題行動に関する調査」を改めて実施し、現状との比較を行い課題を明確にし、大阪府警察本部の少年課児童虐待対策室はじめ関係諸機関と連携し、今後の対策等について研究していきたいと考えています。

今年度、生活指導部では専門委員が多数入れ替わり

ましたが、これまで諸先輩が築いてこられた取り組みを活かすと共に、時代に合った新たな取り組みにも積極的にチャレンジしていきたいと考えております。

また、定例の専門委員会では各区やブロックの情報交換を密に行い、常に大阪市の子どもたちの現状について共通理解を図っていききたいと考えておりますので、各校の校長先生方におかれましては、専門委員の派遣におきまして、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

特別支援教育部

「子どもたち一人一人が、共に学びに向かい
生きる力を育む教育をめざして」

柿 花 正 信 (梅 南 中)

「障害者権利条約」の批准に伴い平成28年4月1日「障害者差別解消法」が施行されました。学校現場でも「合理的配慮の提供」が義務付けられ、障がいのある生徒への理解と支援が教育活動全体に求められてい

ます。また、今年度からは新学習指導要領が実施となり、総則は一部を除き今年度から適用されます。

今、特別支援教育は新たな段階を迎え、さらなる共生社会の形成に向けて充実と深化を求められています。

学校が学びの拠点として、特別な教育的ニーズのある子どもと周りの子どもが相互に交流し学習を深めていくこと、人権教育の取り組みを通じて「障がい理解」を推進すること、特別支援教育を全校的な課題として

職員全体で取り組むことなど様々な課題が明らかになっています。

新しい時代に対応する「生きる力」の育成をめざし、教育実践・研究と発信を進めたいと考えています。

保健養護部

「養護教諭の専門性と資質の向上をめざして」

吉 田 直 子 (新豊崎中)

子どもたちが安心して学校生活を送るために、心身の健康の保持増進は教育活動の基盤となります。保健養護部では「養護教諭の専門性と資質の向上をめざして」を研究主題とし、多様化・複雑化する子どもたちの抱える健康課題を早期発見し、支援、そして子どもたちが健康な生活を送るために必要な力を育めるよう、学習会やスキルアップ研修会を実施しています。

またブロックごとに共同研究を行っています。ほと

んど各学校で1人配置の養護教諭が、健康課題への実践を深めるとともに、経験年数の異なる養護教諭と互いに学び、知識や経験を共有する大切な場となっております。

今年度、全市研究発表会は、学校現場での救急対応をテーマに準備をすすめているところです。今後とも、どうぞご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

教育メディア部

「生きる力」と「感動する心」を育む教育メディアの研究

(学校図書館・放送・視聴覚教育を通して)

原 稔 (淡路中)

教育メディア部は学校図書館教育・放送教育・視聴覚教育の部門に分かれて研究活動を行っています。

学校図書館教育部門では、各中学校の学校図書館担当者を中心に、学校図書館を活用した調べ学習や読書活動の活性化を図るとともに、大阪市学校図書館協議会と連携し、大阪市青少年読書感想文コンクール・大阪市読書感想画コンクールに取り組んでいます。また、放送・視聴覚教育部門では、近畿放送教育研究協議会および近畿視聴覚教育連盟と連携し、NHK 杯全国中

学校放送コンテスト大阪大会、大阪市立中学校放送コンテスト新人大会に取り組んでいます。

今年度も、これらの取り組みを通して、「生きる力」と「感動する心」を育む教育メディアの研究を進めてまいります。

なお、全市研究発表会では、学校図書館教育部門と放送・視聴覚教育部門とが交互に発表することとしており、今年度は学校図書館教育部門が発表いたします。積極的な参加をよろしくお願いいたします。

教育課題部

未来を切り拓く力をはぐくむ教育課程の編成について

安 村 哲 治 (旭東中)

教育課題部では、これまで校務運営の一つとしての「教務の実務」について、研修に取り組んできた経緯があります。今年度は、第2ブロックの研究発表会で「教務の業務に関わる疑問等に答える」内容のものを兵庫教育大学の准教授による講演を予定しています。

全市研究発表会では、2021年度より全面実施される中学校学習指導要領で授業改善の視点とされる『主体

的・対話的で深い学び』をめざした授業づくりをテーマにした講演を予定しております。一人でも多くの先生方にご参加いただき、今後の取り組みの一助にいただければと考えています。また、参加者との情報交換を図りながら、研究活動ができればと思っております。今後とも、教育課題部の研究発表会への積極的なご参加をよろしくお願いいたします。

本部だより

平成30年度 大阪市立中学校教育研究会全体会

5月23日(水)に大阪市教育センターで開催しました。

研究主題

「未来を切り拓く力をはぐくむ教育の創造」

～主体的・対話的で深い学びの実現に向けて～

全市研究発表会 10月10日(水)を中心に開催予定。積極的な参加を!!

《事業の種類》

- ① 教育課程の検討と推進
- ② 研究部・ブロック委員会の研究活動の深化・充実
- ③ 全市研究発表会の推進と研究活動の充実
- ④ 中教研会報の内容の充実、研究活動の動向や成果の正確な伝達
- ⑤ 教育委員会・教育センター・校長会・小学校教育研究会等関係団体との協調と連携

《当面の課題》

- ① 学力向上・指導法の工夫改善について
- ② 研修・研究会への参加を通しての教職員の相互研鑽
- ③ 教育課程の諸問題についての研究
- ④ 基礎学力の充実・問題行動・いじめ・不登校の研究
- ⑤ 各部・各ブロック・各学校における研究体制の整備
- ⑥ 小中一貫した教育についての研究
- ⑦ 道徳の教科化について
- ⑧ その他教育上の諸問題の研究

評議員会報告

第1回 5月23日(水)

14時～ 於：教育センター

- (1) 平成29年度 事業報告
- (2) 平成29年度 会計決算報告
- (3) 平成29年度 会計監査報告
- (4) 平成30年度 事業計画並びに予算案
- (5) そ の 他
 - ① 役員選出について
 - ② 専門委員会での協議事項
 - ③ 今後の評議員会の日程について 等

第2回 6月6日(水)

16時～ 於：教育センター

- (1) 平成30年度 予算案について
- (2) ブロック研究発表会・全市研究発表会について
- (3) 会報(第129号)、研究集録の作成について
- (4) 研修計画について
- (5) そ の 他
 - ① 平成30年度 役員・専門委員一覧表について
 - ② 平成30年度 部門別研究主題について
 - ③ 平成30年度 ブロック別研究主題、研究発表会の確認について
 - ④ 平成30～32年度 全国・近畿大会予定表について

平成 30 年度 部門別研究主題

No.	部 門	研 究 主 題
1	国 語	「生きる力」としての国語力の育成 －自分の思いや考えを深める言語活動の充実－
2	社 会	「自ら学ぶ力を育み、未来を拓く社会科学習」 －ひと・もの・ことをつなぐ学習の創造－
3	数 学	「数学的に考える力を育む授業の創造」 －課題を自立的、協働的に解決する力の育成に向けて－
4	理 科	「自然の事物・現象について理解を深め、科学的な見方や考え方を養う理科教育」
5	音 楽	「表現と鑑賞 音楽力の向上」 －豊かな感性を育て、表現力を培う授業のあり方－
6	美 術	「豊かな人間性と創造性を育む教育活動をめざして」
7	保 健 体 育	「保健体育授業における学習意欲を高める協働的深い学びの創造」 －陸上競技（リレー種目）の指導法の研究－
8	技術・家庭	「豊かな生活を創造する力を育む技術・家庭科教育」 －主体的な学びによる課題解決学習－
9	英 語	「英語で積極的にコミュニケーションを図る資質・能力を育成する」 －5領域のコミュニケーション能力を総合的に養う－
10	道 徳	「人間としての生き方についての自覚を深める道徳教育の創造」 －豊かな心を育む道徳の授業づくりをめざして－
11	特 別 活 動	「生徒一人ひとりが主体的に生きる特別活動の創造」
12	生 活 指 導	「生活指導上の今日的な課題を把握し、地域・関係機関と連携・協働した効果的かつ組織的な生活指導体制を研究する」
13	特別支援教育	「子どもたち一人一人が、共に学びに向かい 生きる力を育む教育をめざして」
14	保 健 養 護	「養護教諭の専門性と資質の向上をめざして」
15	情 報 技 術	「多様化する情報を活用する力を身につける」
16	教育メディア	「生きる力」と「感動する心」を育む教育メディアの研究（学校図書館・放送・視聴覚教育を通して）
17	教 育 課 題	「豊かな心を育み、生きる力を培う教育課程の編成」

平成 30 年度 ブロック別研究主題・発表会日程

ブロック	研 究 主 題	発表会日程
1 ブロック	「カリキュラム・マネジメントの充実をめざして」 －新学習指導要領を見すえ、社会に開かれた教育課程の確立－	8 月 28 日 (火)
2 ブロック	「未来を切り拓く力をはぐくむ教育の創造」 －主体的・対話的で深い学びの実現に向けて－	8 月 30 日 (木)
3 ブロック	「確かな学力の定着と豊かな心を育む教育の充実」	8 月 29 日 (水)
4 ブロック	「安全な社会で心豊かに力強く生き抜く力を育む教育の創造」	9 月 3 日 (月)
5 ブロック	「基礎・基本の確かな定着を図り、個性を生かした『生きる力』を育む教育活動の推進」	9 月 5 日 (水)
6 ブロック	「生徒の個性を生かし、主体的に学ぶ意欲を育てる教育活動の研究と推進」	8 月 30 日 (木)
7 ブロック	「豊かな心を育み、個に応じた、学ぶ意欲を高める教育活動を創造する」	8 月 30 日 (木)
8 ブロック	「豊かな心と未来を切り拓く力をはぐくむ教育の創造」	8 月 30 日 (木)

※日程につきましては、部によって異なることがありますのでご注意ください。

平成30年度 役員・評議員

平成30年度、役員・評議員が下記のとおり決まりました。(敬称 略)

【大阪市教育局委員会】

中学校教育担当	総括指導主事	小野寺 健
大阪市教育センター	指導主事	石田 かおり

【本 部 役 員】

会 長	石 川 文 子 (宮 原)
副 会 長	松 井 宏 之 (難 波)
同	生 長 政 彦 (東 淀)
同	井 寄 芳 春 (横 堤)
書 記	三 好 充 (瑞 光)
会 計	藤 本 睦 子 (田 島)
会 計 監 査	北 川 一 雄 (天 王 寺)
同	堀 田 千 秋 (住 之 江)

【本部役割分担一覧】

- 全市研究発表会、
ブロック研究発表会の調整 等 (松 井)
- 企画立案、研究の歩み、会報の編集、
HP担当 等 (生 長)
- 研修計画
小中一貫教育担当 等 (井 寄)
- 名簿作成、議事録作成、
案内状発送、報告書作成 等 (三 好)
- 会計、予算、事業報告書作成、
決算報告書作成 等 (藤 本)
- 会計監査、会場準備、資料配布 等 (北川・堀田)

【部 長】

1	国 語	原 口 貴美子 (勝 山)
2	社 会	鈴 木 慶 彦 (野 田)
3	数 学	坂 惠津子 (新 豊 崎)
4	理 科	吉 本 博 志 (市 岡 東)
5	音 楽	中 本 宏 司 (我 孫 子)
6	美 術	藤 田 政 治 (茨 田)
7	保健体育	橋 本 寛 (董)
8	技術・家庭	宮 脇 敬 市 (東 三 国)
9	英 語	井戸本 崇 志 (我孫子南)
10	道 徳	安 藤 幸 人 (東 陽)
11	特別活動	進 藤 文 代 (旭 陽)
12	生活指導	源 嶋 史 展 (高 倉)
13	特別支援教育	柿 花 正 信 (梅 南)
14	保健養護	吉 田 直 子 (新 豊 崎)
15	情報技術	箕 輪 正 秀 (相 生)
16	教育メディア	原 稔 (淡 路)
17	教育課題	安 村 哲 治 (旭 東)

【ブロック委員長】

第1ブロック	渡 部 公 伸 (梅 香)
第2ブロック	泉 野 泰 久 (友 渕)
第3ブロック	名 田 正 廣 (港)
第4ブロック	森 健 (十 三)
第5ブロック	川 田 浩 二 (東 生 野)
第6ブロック	山 本 哲 哉 (中 野)
第7ブロック	吉 岡 美由紀 (今 宮)
第8ブロック	向 井 秀 俊 (木 津)

平成30年度 教育研究会予算

1. 歳 入

(単位：円)

項 目	30年度 予 算 額
会 費	2,223,000
補 助 金	※200,000
繰 越 金	3,012,423
預 金 利 息	0
合 計	5,435,423

2. 歳 出

(単位：円)

項 目	30年度 予 算 額
本 部 事 業 費	3,541,415
研究部事業費	1,503,008
ブロック事業費	391,000
合 計	5,435,423

※日本教育公務員弘済会研究助成金